

熱中症暑さ指数計

SK-161GT

取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.

はじめに

このたびは熱中症暑さ指数計「SK-161GT」をお買いあげいただきありがとうございます。この商品は、日射のない室内の暑さ指数（WBGT指数）、温度および湿度をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。ご使用前には必ず取扱説明書（本書）をお読みになり、大切に保管してください。

⚠ 本器をご使用いただく前に

本器で熱中症を防ぐことはできません。本器は熱中症の予防の目安となる、日射のない室内の暑さ指数（WBGT指数）をお知らせする製品です。熱中症の発症は暑熱環境の影響のほか、個人の健康状態や暑熱環境に対する習慣性など様々な要因があります。本器をご使用するにあたり、上記の要因をよく理解していただき、熱中症予防のための目安としてご使用ください。

⚠ 警告



爆発注意

爆発する恐れがあり大変危険です。本器は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気でのご使用は絶対にしないでください。ご不明な点がありましたらお買いあげ店または弊社にご相談ください。

⚠ 注意

本器を正しくご使用いただくために、以下のことを守ってください。

- 標準空気組成（一般大気）以外でのご使用は絶対にしないでください。
- 本器は防水構造ではありませんので絶対に濡らさないでください。
- 本器が結露した場合は、すみやかに乾電池を取り出し、常温で自然乾燥させてから再度ご使用ください。
- 電氣的ノイズが発生する環境で使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- 分解、改造または規定電源以外のバッテリーを使用しますと、正確な測定ができなかったり、故障の原因となりますので、絶対にしないでください。
- 本器は精密にできていますので落下させたり、振動・衝撃を与えないように注意してください。
- 測定範囲外でのご使用は故障の原因となりますので絶対にしないでください。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くでのご使用はやめてください。ケースの変形や故障の原因となります。
- 自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器が故障する恐れがあります。このような場所には放置しないでください。
- 本器をアルコール、シンナー、その他溶剤などで洗ったり、拭いたりしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどをよくしぼってから拭いてください。

※修理・校正はお買いあげ店または弊社へお申し付けください。

概要

本器は、日射のない室内の暑さ指数（WBGT指数）、温度および湿度を測定する卓上・壁掛け用の測定器です。熱中症予防の目安としてご使用ください。暑さ指数（WBGT指数）とは、人体の熱収支に影響の大きい気温、湿度、輻射熱の3つを取り入れた湿球黒球温度指数（Wet Bulb Globe Temperature Index）で、乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って求めます。一般に、湿球温度や黒球温度の測定にはある程度の専門知識・技術を必要とし、機器の取扱いや設置場所の制約がありました。本器では日本生気象学会の「日常生活における熱中症予防指針」に基づき、温度と湿度から暑さ指数（WBGT指数）を求めています。

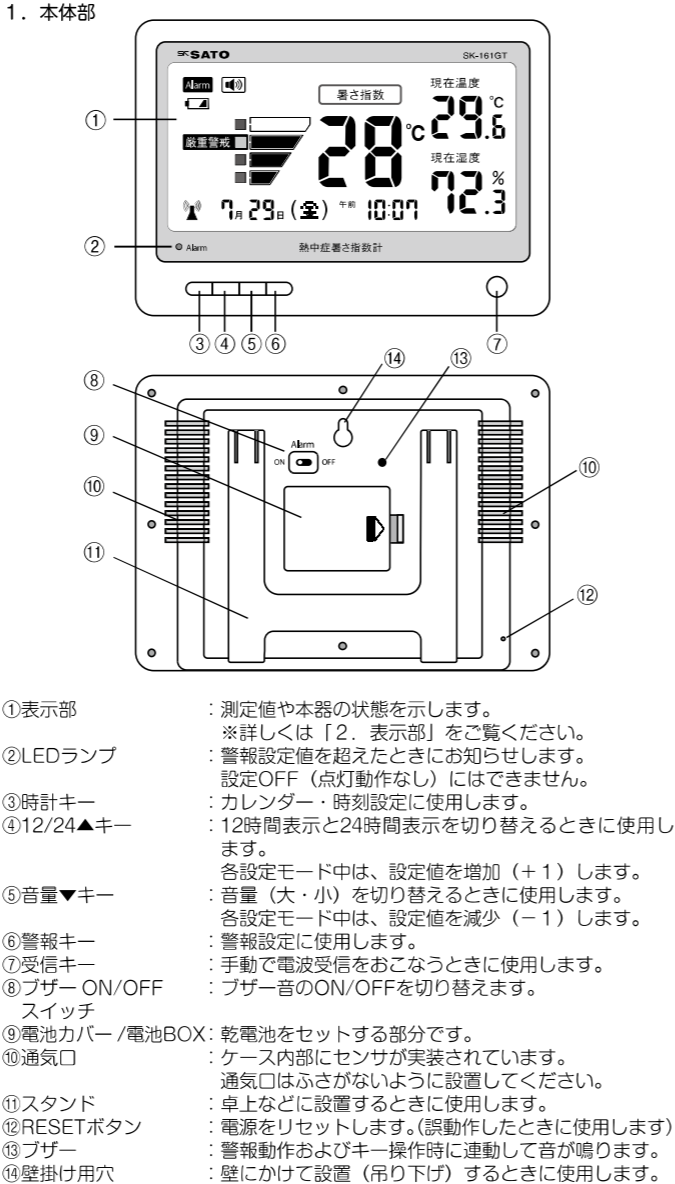
特長

- 本器は、日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」に基づいた、4段階の暑さ指数注意レベル（注意、警戒、厳重警戒、危険）を表示します。暑さ指数と併せて熱中症予防の目安としてご利用いただけます。
- 暑さ指数の警報機能を搭載しています。設定した値を超えるとブザー音およびLEDランプが点滅してお知らせします。
- 大型液晶を採用し、文字が大きく見やすいので、離れた場所や幅広い角度から表示を読むことができます。
- 本器は、暑さ指数、温度および湿度を同時に測定、表示するため、環境測定に便利です。時計は、電波時計を採用しており、時刻合わせの手間がかりません。
- スタンドで卓上などに立てかけたり、壁掛け穴で壁にかけて使用することができます。

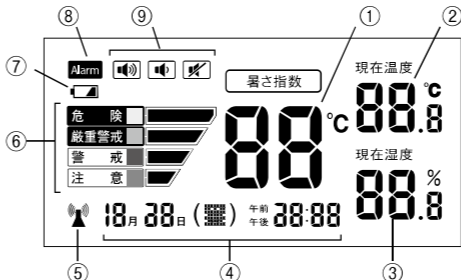
ご使用前に

ご使用前に付属品が不足していないか、本器が輸送中に破損していないかご確認ください。万一付属品が不足していたり、本器や付属品が破損している場合は、お買いあげ店または弊社にご連絡ください。

各部の名称



2. 表示部

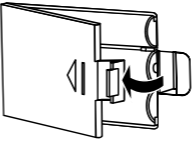


- ①暑さ指数 : 暑さ指数を表示します。警報設定モード中は設定値を表示します。
- ②温度 : 温度測定値を表示します。
- ③湿度 : 湿度測定値を表示します。
- ④カレンダー / 時計 : 月、日、曜日、時刻を表示します。 ※年はカレンダー・時刻設定モード中のみ表示します。
- ⑤電波受信マーク : 電波時計の受信状態を示します。
- ⑥暑さ指数注意レベル : 暑さ指数に対応した4段階の温度基準域を表示します。
- ⑦ローバッテリーマーク : 電池残量が少なくなると点灯します。
- ⑧警報マーク : 警報機能がONに設定されているときに点灯します。警報の動作履歴を示すものではありません。
- ⑨音マーク : ブザー音の設定状態を示します。

乾電池のセット

本器をはじめてご使用する場合やローバッテリーマークが点灯したときは以下の手順で乾電池をセットまたは交換してください。

①電池カバーを下図のように外します。



- ②電池交換の場合は古い乾電池を取り出してください。
- ③電池は単3形乾電池を3本使用します。電池BOXの電極マーク（⊕、⊖）を確認して正しく乾電池をセットし、電池カバーを取り付けてください。電池をセットすると、ブザーが鳴りLEDランプが点灯して、温度と湿度の計測を開始します。

※電池交換後は自動的に表示内容および設定値が初期状態にリセットされます。 ※電池交換後、自動的に電波受信をおこないません。電波受信状況が悪く電波を受信できない場合は手動にてカレンダー・時刻を設定してください。設定方法は「カレンダー・時刻の合わせかた」の「電波を受信できない場合（手動設定）」をご参照ください。電波自動受信中は温度および湿度の計測動作は停止します。警報動作をおこなうことができません。詳細な動作は「カレンダー・時刻の合わせかた」の「電波受信方法（自動受信）」をご参照ください。

⚠ 注意

- ローバッテリーマークが点灯したときは、速やかに新しい乾電池と交換してください。電池が消耗した状態で使用すると正しい測定ができません。
 - 一度電池残量がなくなった電池は、本器より取り外すと電池電圧が一時的に復帰しますが、電池残量が無い状態のため、電池挿入時や警報作動時（ブザー鳴動）にローバッテリーマークが点灯することなく異常動作となることがあります。速やかに新しい乾電池と交換してください。
 - 電池は3本共に同じ種類のもので、すべて新しいものをご使用ください。種類が違ったり、古い電池と混ぜると破裂や液漏れの恐れがあります。
 - 不要になった乾電池は、火中に投入しないでください。電池が破裂してやけどやけがをする恐れがあります。
 - 電池を破棄する場合および保管する場合には、テープなどで絶縁してください。他金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。
 - 環境保全のため使用済みの電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようお願いいたします。
 - 電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
 - 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。電池を入れたままにしておきますと電池から液漏れする場合があります。また、電池を直接ハンダ付け、ショート、分解、加熱などしないでください。発熱、液漏れ、破裂する場合があります。
- 電池が液漏れして液体が衣服に付着した場合は、液体に素手で触らずにすぐに水で洗い流してください。液体が皮膚に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、目に入ったときは、水で洗った後、直ちに医師の治療をうけてください。

カレンダー・時刻の合わせかた

電波受信方法（自動受信）

使用前の準備は電波を受信するだけの簡単操作です。電波受信方法は、乾電池セット後の自動受信以外に、以下の操作や状況で電波を受信することができます。

- ・毎晩の自動受信
- ・“受信”キーを押したとき（手動受信）
- ・RESETを押して電源をリセットしたとき（電池をセットしたとき）

設置場所や電波状況等により異なりますが、受信時間は概ね12分程度です。正しく電波を受信すると電波受信マークが表示され、年月日・曜日・時刻の情報が更新されます。毎日電波を受信し、時刻を正確に表示するために、電波が強いところに設置することをお勧めします。

●電波受信マーク（📶）について
電波受信マーク（📶）は、受信状態を表しています。



電波受信中は（📶）マークが順に点灯し、受信中であることをお知らせします。また、（📶）マークは電波の強弱を表し、（📶）マークが消灯しているときは電波が届いていないことを表します。

正しく電波を受信すると、電波受信マーク（📶）は点灯に変わります。電波を受信できなかった場合、電波受信マーク（📶）は消灯します。カレンダー・時刻を設定するときは「電波受信方法（手動受信）」または「電波を受信できない場合（手動設定）」をご参照ください。 ※手動設定（カレンダー・時刻設定モード）をおこなうと、電波受信マーク（📶）は消灯します。 ※電波受信中は警報動作をおこなうことができません。

●毎晩の自動受信について
電波時計は常に電波を受信することにより正確さを保ちますので、受信の成功・失敗（電波受信マークの点灯・消灯）に関わらず、毎晩自動受信がおこなわれます。一般的に日中よりも夜間のほうが電波を受信しやすいため、毎晩午前0時以降に自動で電波を受信します。 ※一度電波受信に成功すると、次の午前0時以降まで自動受信はおこなわれません。

電波受信方法（手動受信）

電波受信に失敗したときは、本器を電波状況の良い場所に移動し、以下の方法により手動で電波を受信してください。

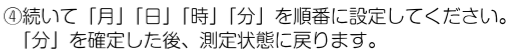
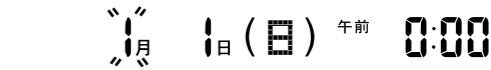
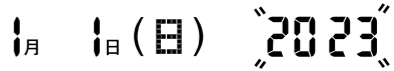
①“受信”キーを2秒以上押してください。電波受信を開始します。 ※電波受信に成功したときにブザー音が1回鳴ります（ブザー ON/OFFスイッチがONの場合）。ブザー ON/OFFスイッチがOFFの場合、ブザー音は鳴りません。 ※電波受信に失敗した場合、電波受信マーク（📶）は消灯します。

②電波受信の途中で電波受信を停止したい場合は、“受信”キーを2秒以上押してください。電波受信マーク（📶）が消灯して電波受信を停止します。

電波を受信出来ない場合（手動設定）

電波受信ができない場合は、カレンダー・時刻を手動で設定してください。

①測定状態で“時計”キーを2秒以上押してください。カレンダー・時刻設定モードに切り替わります。“時刻”表示部が“年”表示に切り替わり数字が点滅します。



④続いて「月」「日」「時」「分」を順番に設定してください。「分」を確定した後、測定状態に戻ります。 ※「曜日」は自動で設定されます。「曜日」は手動で設定することはできません。 ※約30秒間キー操作がない場合は、表示値で設定を確定して測定状態に戻ります。 ※手動設定しても次の午前0時には自動受信をおこないません。

12時間 / 24時間表示の切り替え

測定状態のときに「12/24▲」キーを押してください。表示が切り替わります。12時間表示の場合は“午前”または“午後”のキャラクタが点灯します。

